

根 下 了 ?



◆◆ くずし字を
読んでみよう!



! 手 足 心
お 心



くずし字ってなんだろう？

盤 姫

々

波 波
は

者 者
々

江戸時代以前の古い史料に書かれている文字(くずし字)は、普段私たちが使っている「楷書」とは異なり、とても読みにくいですよ。さらに、一つのひらがなを表す形であっても複数の種類がありました。これを「変体仮名」といいます。例えば、今は「ハ」と呼ぶひらがなは「は」しかありませんが、「波」「者」「盤」「ハ」も「ハ」でした。ひらがな一つにも形がたくさんあるなんて、複雑で難しそうですよね…。

でも、実はくずし方にも法則があったり、言い回しが決まっていたり、見た目の印象ほど難しくないんです。くずし字を読めるようになる、お家にあるご先祖様のお手紙や日記もより身近なものに感じられるかもしれません！

そこで今回はくずし字に少しでも興味を持っていただきたく、出展資料の中からクイズをご用意しましたので、ぜひチャレンジしてみてください。

チャレンジ①

ウォーミングアップ編を参考にしながら

に当てはまる漢字を入れてみましょう！

※解答は冊子裏面にあります

偏(へん)と旁(つくり)に分けて考えてみると…?



木木木木木

伊勢菊

方一人

罷

候条

致孝行

伊勢菊のことは、そなた(勝茂の六男・直長)一人が頼りなので、(姉の伊勢菊に)孝行する

覚悟第一之事

覚悟第一之事

「覚悟を第一にすること」

初代藩主勝茂公から六男の直長公に宛てた心得書です。勝茂公の娘 伊勢菊さまは神代(くましる)家に嫁ぎましたが、跡継ぎであった息子が早世し、伊勢菊さまの弟である直長公が家督を相続しました。夫と子に先立たれた伊勢菊さまのことを、嫁いだ後も大切な愛娘として気にかけておられた様子が伝わってきます。



「鍋島勝茂覚(神代直長宛)」より

チャレンジ②

用事

ニ

別

偏(へん)と旁(つくり)に分けて考えてみると…?



木各各各各

山内中一様御座火術は如何

楽も

御座

火術

は如何

此より中より火術を以て

不

変

御楽之

と

石を爰に楽しむる事と

察候

と

「(あなたと同じように)格別の楽しみはございません。火術についてはいかががでしょうか。相変わらずお楽しみになっておられることとお察しします。」

薩摩藩主の島津斉彬公から10代佐賀藩主鍋島直正公に送られた手紙の一部です。実は、二人は「いとこ」同士であり、海防のための砲術導入という同じ視点を共有し、火術についても「お楽しみになっている」と語るような間柄でした。





徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA

チャレンジ①の解答

伊勢菊 **事** **其** 方一人 **相** **頼** **可** **罷** **有** 候条 **可** 致孝行
覚悟第一之事

チャレンジ②の解答

御 用事ニ **格** 別 楽も **無** 御座火術は如何
不 **相** 変御 楽之 **御** **事** と **奉** 察候



徴古館
ホーム
ページ



SNS ▶



0952-23-4200



<https://www.nabeshima.or.jp>

徴古館「鍋島家のお姫さま」展(2022年6月18日～8月21日)リーフレット

編集・デザイン・発行/公益財団法人鍋島報効会